

チームネクストの 初の総会

チームネクストは2012年8月末の株式会社キヤビック兼元社長（現チームネクスト代表世話人）による『タクシー業界における福祉・介護の取り組みの先進事例』というテーマによるセミナーから始まった。最初は果たしてこの活動と組織を継続していけるかどうか自信がなかったのだ。

準備活動として、この兼元社長の講演、初代表世話人であった天野つばめ自動車社長の講演『タクシーを超えるタクシー（タクシーの未来が見えた）』。そして世話人の千代田タクシー加藤社長の『タクシーの新しい需要は思わぬところにあ



る！』というテーマの3回のプレセミナーを実施し、皆さんの評価を仰いだ。嬉しいことに比較的評判が良く、継続のメドがたったので、以後3カ月に一回のペースでセミナー合宿を延べ11回行うことができた。その詳細は資料、動画を含めチームネクストの交流サイトで御覧頂ける（チームネクストで検索！）ので、是非見て頂きたいと思う。

ところで今回のコラムの表題にもあるように今月の5日に帝京平成大学中野校の教室をお借りして、チームネクストとして初めての総会を行った。任意団体とはいえ、本来会費を頂いている以上、毎年の会計報告も含め、年次の総会（ないしは少なくとも年次の会計報告）を行うのが常識なのだが、会員の皆さんの寛大さに甘えて、やれていなかった。そこで今回、会計報告も含め、この3年間の活動の振り返りと今後のチームネクストの活動の在り方について、事務局からの提案と会員の皆さんの議論の場を持つことになった。

清野吉光氏のコラム 第86回

団塊 耕 志 録

清野 吉光(きよの よしみつ) 略歴

1950年 長野県四賀村生まれ、松本深志高校卒業。1968年上智大学外国学部ロシア語科入学、1971年 中退。その後印刷関係など様々な職業に従事。1976年清水市の日の丸交通入社。1980年静岡市内の事務機器センターに入社。1982年システムオリジンを仲間と創業、専務取締役。1992年代表取締役社長就任。2000年(株)タクシーサイト創立、現取締役会長。2007年タクシーアシスト代表取締役社長に新任。現在に至る。



初めての総会

勉強から実践へ

もともとチームネクストは、全国の進んだタクシー事業者の実践を勉強させてもらうだけではなく、それを実践に移して行くという初代天野代表世話人の意向の下に発足していたが、残念ながら、セミナー合宿という形での所謂ベストプラクティスのベンチマークと、懇親会による交流の場で終わっていた。それぞれで意義のあるところだとは思いますが、營收の低下、車両の過剰、乗務員不足の状況に追い打ちをかけるように、巨大外資によるライドシェアなど



所謂白タクの合法化の動きでタクシー業界の根底がゆらいでいる局面とで、チームネクストとしてもより実践面に力を入れていかねばならない。総会での事務局の報告の中でも「今後充実させたい事」として、現在タクシーアシストが担っている事務局機能をより強化し、

- 1、交流サイト&会員プログラムの充実
- 2、事務局から会員への適時情報配信
- 3、会員各社のビジネスメニューの採用支援、ネットワーク化
- 4、海外のタクシー事業者への視察

の4点が提案されている。これらのどこが「より実践へ」繋がるのか？と批判されそうだが、ひとつは今までセミナー合宿の企画、実施に終始し、日常の情報収集、発信、交流がおろそかになっており、チームネクスト発足以来開設されていたチームネクストのホームページ、とりわけ会員向けの交流サイトが殆ど機能していないことの改善が必

要と思われる。チームネットワークの会員には人気のあるブログを主宰し、業界に向け発信を続けている方が何名もいらっしやる。そうした発信力をチームネットワークとして、相互に交流し、増幅し、さらに大きく発信していく触媒として機能していきたい。もちろん事務局独自の情報収集と情報提供を継続的になさねばならないと思う。

より実践に近づくものとしては、3点目に掲げた「会員各社の独自のビジネスメニューの他社への採用支援、ネットワーク化」の役割である。セミナー合宿では、各社のすぐれた考え方、実践に触れるが、しかし、ともしれば、それに感心するだけで、なかなか自社での実践にまで行き難いものである。それを継続的に実践するためのお手伝いを、ベストプラクティスの会社と提携しながら、行っていくという趣旨である。さらにそれを一社のみならずネットワーク化しようという試みである。例えば、今回の総会でも福岡の大稲自動

車グループが和食タクシージャパンやシンドレラタクシーなど様々なアイデア溢れるサービス事例を紹介して頂いたが、他の地域でこうしたサービスを実践したい時に、事務局が積極的に両者をつなぎ、サポートし、さらにそのサービスメニューを全国のタクシー事業者に紹介し、ネットワークを作っていくお手伝いをして行きたい。良いサービスを一事業者のサービ스에終わらせず、業界全体に広げて行くことがタクシー業界全体の底上げにつながると思われる。しかし、こうした活動は一種のコンサル業務であり、そう簡単なことでは無いと思う。チームネットワークの事務局としても、試行錯誤の



中でそのノウハウを身に付けて行くしかないと思う。これも「新たな挑戦！」

スマホの共同配車

今回の総会の最後に「自由討論」という場を持った。今後のチームネットワークの在り方やタクシー業界の方向性について自由に会員に語り合ってもらおうという場だ。普通、こうした「自由討論」というとなかなか意見が出ないものだが、この日は驚く程に議論が活発で、進行役の清野が収拾に困る程であった。そしてやはり議論の中心は京丹後市などの国家戦略特区での採用を突破口としたライドシェア問題への危機感である。Uber、リフトなどの家用自動車を使ったライドシェアのビジネスが合法化されれば、現在のタクシーのビジネスが根底から揺らぐ。しかし単に白タク反対のみでは、この動きに抗しきれないであろう。彼ら以上の利用者利便と細やかなサービスメニューを実現し、さらに強みである安全、安心を

活かし、なおかつ乗務員さんにも魅力ある産業にするためにはITの活用は必須であり、そうした仕組みを早急に（今年中に！）作り上げねば、ライドシェアの動きに淘汰されるだろう！と言う事で、IT会社であるオリジンは何をシロシヨロ（静岡弁でグズグズの意）しているのだと叱られる羽目になりました。

その突破口として「スマホ de タックン」の全国化の一翼を是非オリジングループとして他のIT、無線事業者と協力して担って行きたいと思う。もちろんスマホの共同配車自体は魔法の玉手箱の様に問題を解決するのではなく、言わば最低限の業界としての姿勢を示すもので、そこからどのように新しい生活移動産業のプラットフォームを創造していくかが問われるのだと思う。新自由主義によるグローバリズムは、地域の生活、暮らしの足を守るインセンティブを持たない。黒船に対抗するには力ある白船を作るしかない！

（2016年2月22日記）

タクシー買取専門店だから出来る高価買取

LPG、ガソリン、過走行、低年式等でも大丈夫!

株式会社ジェット

東京都公安委員会 第305561207814号

本社：〒174-0041 東京都板橋区舟渡 1-15-9 プローブ浮間舟渡 101 ☎03-6454-9896